



この画像は、AIによって生成されています

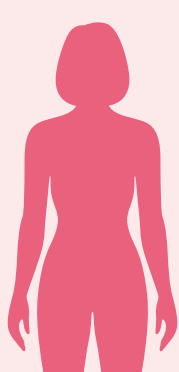
ヒトパピローマウイルス

HPVは男女ともに関係します

予防について、考えてみませんか？

HPV(ヒトパピローマウイルス)感染が原因となる主ながん・疾患

女 性



子宮頸^{けい}がん



肛門がん



尖圭^{せんけい}コンジローマ

HPVは
男女ともに
感染する
ウイルス

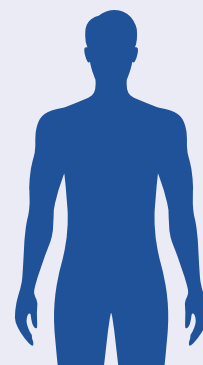
男 性



肛門がん



尖圭^{せんけい}コンジローマ



Graham SV. Clin Sci (Lond). 2017; 131(17): 2201-2221.

HPV関連がん・疾患を予防するには※¹

女 性

HPVワクチン

定期接種/原則自己負担なし

対象者: 小学校6年~高校1年相当の女子※²

小6

11/12歳

中1

12/13歳

中2

13/14歳

中3

14/15歳

高1相当

15/16歳

検診

20歳になったら、定期的な子宮頸^{けい}がん検診

男 性

HPVワクチン

任意接種/原則全額自己負担

自治体によっては、男性への接種の費用補助を行っている場合があります。
詳しくは、お住まいの自治体のホームページ等でご確認ください。

費用補助がある自治体の多くでは、女性の定期接種と同様の年齢※³が対象となっています。

※1: HPV関連がん・疾患はHPVワクチンと検診で100%予防できるわけではありません。
※2: 費用補助の対象年齢ではない方も任意接種(原則全額自己負担)として接種が可能です(9歳以上)。
※3: 費用補助の対象年齢や補助の内容は自治体によって異なります。

「HPV関連がん・疾患」とその予防方法については医師にご相談ください

医院・クリニック名

詳しくはこちら

